

地域コミュニティ組織部門

会長賞

柁野区公民館

薩摩郡さつま町

団体の紹介・活動の目的

柁野地区はさつま町の北部に位置する、紫尾山系の山に囲まれた盆地であり、その麓に2集落で1地区を構成しています。

高齢化や人口減少が進行し、人口は88世帯155名で、高齢化率は56.1%であり、町内一の高齢化率となっています。

5年ごとに策定する柁野地区地域づくり活性化計画書に基づき、共生・協働の地域づくりに取り組んでいます。

毎年9月に開催している「柁野ひがん花祭り」では、町内はもとより県内外からも多くの方々を訪れており、地区全体の活力と活性化が図られています。

豊かな地域資源を活かした元気で活力ある地域づくりを推進しています。

活動の内容

- 柁野ひがん花祭りの開催(郷土芸能・児童の語り部(観光ガイド)の披露, 郷土料理「みそびら弁当」・地元農産物の販売)
- 伝統行事「仏飯講(隠れ念仏)」の開催(年5回)
- 高齢者ふれあいサロン, グラウンドゴルフ大会の実施
- 地区児童のスクールバス登校を見送る「あいさつこだま運動」の実施
- 高齢者宅の見回り運動や声かけ運動の実施
- 鳥獣被害対策の取組, 行政機関等と連携した基盤整備事業の実施

連携・協力している団体など

さつま町, 鹿児島県, JA北さつま, 柏原小学校, PTA高齢者クラブ, 消防紫尾柁野分団, 郷土芸能保存会等。



【柁野ひがん花祭りの開催】

地区内の小学校と連携し、児童による語り部(観光ガイド)を実施することで児童との交流を図るとともに、児童の愛郷心を育てています。



【郷土芸能(棒踊り)の披露】

地元青年層による郷土芸能(棒踊り)の伝承。柁野ひがん花祭りや町の郷土芸能祭などの行事で披露しています。



【鳥獣被害対策の取組】

国の交付金を活用して鳥獣被害対策の金網柵を設置。2公民会持ち回りで、柵の管理・点検を行っており、地域全員で鳥獣被害対策に取り組む体制が整っています。



【地域特産品等の開発・販売】

地元有志で「さつま町桑青汁園」を設立。途絶えていた桑栽培を復活させ桑茶生産や桑青汁等の地域特産品の開発・販売を行っています。